



平成 22 年 3 月 5 日

各 位

会 社 名 黒崎播磨株式会社
代表者名 取締役社長 古野 英樹
(コード番号 5352 東証1、福証)
問合せ先 取締役常務執行役員
総務人事部長 江口 宏
(TEL. 093-622-7224)

黒崎播磨グループ 第9次中期経営計画について

当社では、この度、平成 23 年度までを実行期間とする「第9次中期経営計画」を策定しましたので、お知らせ致します。

- 黒崎播磨グループは、前中期経営計画(第8次中期経営計画:平成18年度～平成20年度)において、国内の生産構造改革(清水工場閉鎖、黒崎炉材清算)と工場のリニューアル(AG, SNの次世代プロセス構築)に取り組みむとともに、現地市場をターゲットにした中国での事業拡大やブラジルMRSA社への出資等、海外展開強化に向けた布石を打って参りました。
- 平成20年の秋から始まった世界的な経済変動にともない、当社を取り巻く経営環境は前計画期間と様変わりとなっております。この度、新たな環境変化を踏まえた第9次中期経営計画を策定いたしました。
- 本計画では、「国内での収益構造の強化とグローバル展開強化による利益成長」を目指すこととしており、当社が、さらなる飛躍を遂げるための基盤固めと位置づけております。

第9次中期経営計画の概要

①耐火物総合ソリューションの深化・拡大

- ・顧客製鉄所との課題共有化と改善に向けた共同取り組みの一層の強化、材工操に強い人材育成とベースとなる技術の体系化(耐火物、施工、機器)を推進する。
- ・CO2低減に向けて、耐火物と熱を組み合わせた高度な総合ソリューションを提供する。

②グローバル展開の拡大、成長・ビジネスチャンスの創出

- ・当社の中核品種である機能性耐火物についてグローバルな展開(中国、インド、北米、欧州)を進め、またアライアンスメーカーとの連携も図る。
- ・発展著しいアジア地域を中心とする新興国市場において高い技術力とソリューション力を駆使して、新設製鉄所をターゲットに一括契約(原単価契約)にも対応する。

③国内外生産・販売体制の一層の効率化

- ・製造・販売・開発一体となり品種事業部的運営をベースに、品種別・市場別の収益性向上に向けた迅速な改善を行う。
- ・国内外グループ会社の最適編成(グループ内の最適機能分担、コア技術の担保等)を実現する。
- ・ITインフラ(生産・販売管理システム)への戦略的投資による生産・販売部門の業務改革(SCM構築)を推進する。

④耐火物原料の安定調達強化

- ・安定調達リスクのある原料については開発案件への参画も視野に情報収集強化を図り、またアライアンスメーカーとの連携も図る。

⑤生産性の向上と経営資源の効率的な活用

- ・プロセス要素技術の体系化による製造技術力の向上と科学的手法を活用し技術的検証に基づいた材料設計から築造・施工、使用管理までの最適化を図り技術競争力を高める。
- ・生産性向上による戦力捻出と成長/重点領域(海外展開、耐火物総合ソリューション等)への戦略的人材投入を行う。

⑥耐火物以外の事業は成長領域・シグナ-期待領域への展開強化

- ・省エネ、脱CO2等をキーワードに断熱領域等への展開を強化する。
- ・ファインセラミクス領域において、様々な高機能用途での顧客ニーズに応え事業基盤を強化する。

以 上